

大日本スクリーン、プリント配線板用直接描画装置の新世代モデルを発表 ～光源に多灯式ランプを採用し、世界最高レベルの描画品質と生産性を実現～

大日本スクリーン製造株式会社(本社：京都市上京区)のメディアアンドプレジジョンテクノロジーカンパニー(社長：藤澤 恭平)はこのたび、プリント配線板用直接描画装置「Mercurex(マーキュレックス)」の新世代モデル2機種を開発。高生産性を追求した「LI-9200」と高精細タイプの「LI-9700」の販売を、2011年1月から開始します。

当社は、プリント配線板業界におけるパターンの微細化と露光プロセスの変革に 대응するため、直接描画装置において世界で初めて超高压水銀灯を光源に採用した、「Mercurex LI-8500」を2005年に発売。従来のフォトマスクによる露光プロセスで広く使われていた汎用感光材をそのまま使用できるようにしたほか、回路パターンだけでなくソルダーレジストパターン形成までを可能にしました。その後も、高スループットタイプの「LI-9000」、高精細タイプの「LI-9500」を順次発売するなど、「Mercurexシリーズ」として数多くの納入実績を築いてきました。

そして昨今、スマートフォンやデジタルカメラなどの市場の拡大に伴い、それらの機器に不可欠な高密度多層配線板や高精細パッケージ配線板などの需要が急速に高まったことで、プリント配線板製造装置、中でも特に直接描画装置にはさらなる精度と生産性の向上が求められています。このような業界の動向を受け当社は今回、その基幹となる光源システムを一新し、描画精度と生産性のさらなる向上を実現した「Mercurex」の新機種を開発しました。より幅広い波長特性を持ち、さまざまなレジストに最適な露光を可能にする多灯式光源システムを新たに採用することにより、最大23%^{*}の生産性と品質の向上を同時に実現。このほか、新たなアルゴリズムによるアライメント精度の大幅な向上を実現するなど、高精細化の進む配線板の歩留まり向上にも大きく貢献する装置となっています。

当社は、今回の「Mercurex」の新機種発表により、プリント配線板描画装置市場における競争力を一層強化し、国内外におけるシェアのさらなる拡大を図ります。そして、今後も製品ラインアップの拡充を進め、直接描画装置業界のグローバルスタンダードを目指します。

※「LI-9200」の場合(当社「LI-9000H」比)

* この装置は、12月1日から3日まで中国・深セン コンベンション&エキシビションセンターで開催されるプリント配線技術関連の展示会「HKPCA & IPC Show 2010」で紹介いたします。

<販売開始予定>

2011年1月

<年間販売予定台数>

100台(2機種計)

Mercurex LI-9200/9700

☆ この画像の印刷用データ(解像度300dpi)は、
下記URLよりダウンロードできます。
(www.screen.co.jp/press/nr-photo/)



●本件についてのお問い合わせ先

大日本スクリーン製造株式会社 メディアアンドプレジジョンテクノロジーカンパニー ビジネス統轄部 マーケティング・コミュニケーション課:
Tel 075-414-7610 Fax 075-417-2705 〒602-8585 京都市上京区堀川通寺之内上る4丁目